

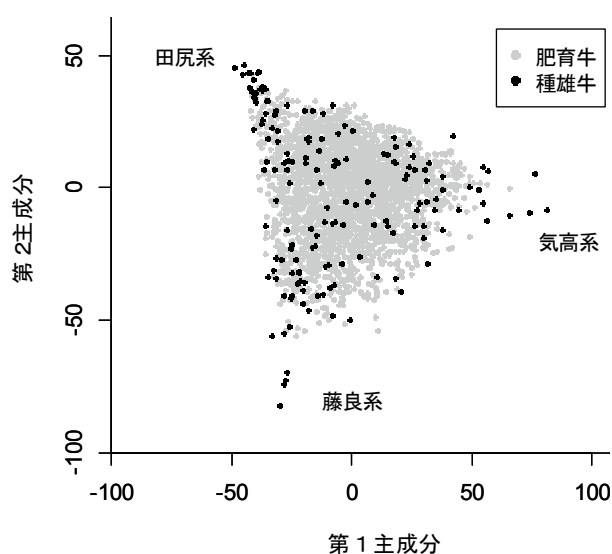


図1 道内リファレンスデータの遺伝背景

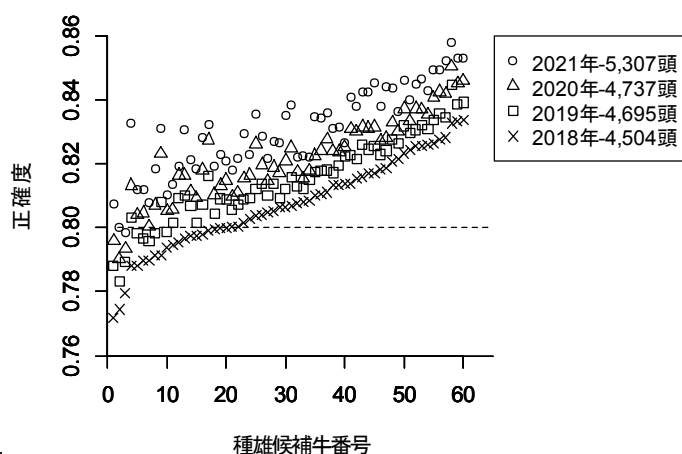


図2 リファレンス数および種雄候補牛の
枝肉重量ゲノム育種価正確度の推移

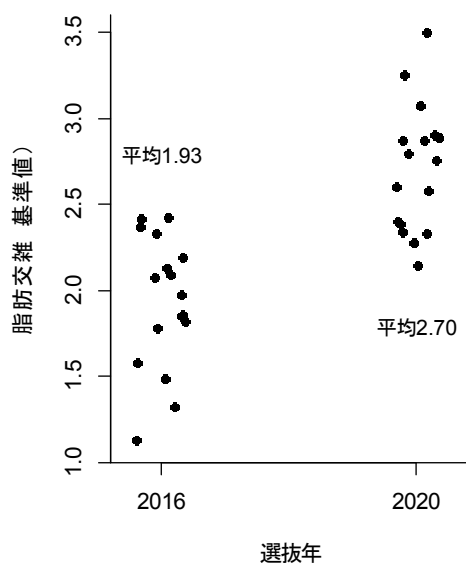


図3 種雄牛造成機関Cにおける1次選抜
牛の脂肪交雑ゲノム育種価分布の変化

表1 北海道ゲノム育種価評価システムを活用
した早期選抜による遺伝的改良量の変化

対象	項目	活用前 (A)	活用後 (B)	B/A
種雄牛造成機関				
1次選抜頭数	生産牛	30頭	30頭	
	計画交配 計画交配なし	-	30頭	
	選抜牛	15頭	15頭	
1次選抜強度		0.78	1.25	
1次選抜精度	期待育種価	0.64	-	
	ゲノム育種価	-	0.83	
	遺伝標準偏差(脂肪交雑)	0.59	0.59	
	世代間隔	5年	5年	
	遺伝的改良量(脂肪交雑)	0.059	0.122	2.07
和牛改良組合のモデル農家				
選抜頭数	生産牛	12頭	12頭	
	保留牛	7頭	7頭	
選抜強度		0.63	0.63	
選抜精度	期待育種価	0.64	-	
	ゲノム育種価	-	0.83	
	遺伝標準偏差(脂肪交雑)	0.59	0.59	
	世代間隔	4年	2年	
	遺伝的改良量(脂肪交雑)	0.059	0.154	2.61

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研畜産試験場 肉牛研究部 肉牛グループ 鹿島聖志
電話 0156-64-0606 FAX 0156-64-6151
E-mail kasima-masasi@hro.or.jp